

# Suma Tomogaoka 通信



兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部  
令和4年度 第5号 3/23

## 令和4年度 第24回兵庫県総合学科高校研究大会 開催

令和5年1月28日(土)、兵庫県立三木東高等学校にて県下の総合学科高校による研究発表大会が開催されました。総合学科での学びの集大成としてのこの発表会は、コロナウィルス感染症により一昨年、規模を縮小し本校で開催され、昨年は動画配信でした。当日は兵庫県北部に気象警報が出るなど心配されましたが、2年ぶりの本格開催となりました。本校からは3年次生がポスターセッションで参加しました。

## 令和4年度 第21回総合学科発表会 開催

令和5年2月11日(土・祝)、本年度の総合学科発表会が開催されました。コロナ禍でここ数年は非公開で実施されてきましたが、3年ぶりに来賓、一部保護者の皆様をお迎えして総合学科発表会が開催されました。全体会1部は「保育声楽」選択の3年次生による歌とパフォーマンス披露のオープニングで始まり、学校長あいさつ、そして「なんで探究しなきゃいけないの? ~探究とは?~」と題しての基調講演がありました。続いて1年次代表生徒による「産業社会と人間」の1年間の学びについてのまとめや職場訪問の報告発表が行われました。その後、体育館では本校の特色ある授業や1年次のクロスカリキュラム活動の動画発表があり、セミナールームでは各教科、1年次の「産業社会と人間」での学習活動の報告ポスター、3年次の探究活動の成果物等が展示されました。教室では2年次生全員によるポスターセッションが行われ1、2年生全員がそれぞれのプログラムに参加・鑑賞しました。全体会2部では3年次代表生徒による課題研究発表があり、最後に講師の先生方から講評を頂きました。今後の探究活動のヒントや課題を頂きました。どの企画も1年次生にとっては初めての経験となりました。1、2年次生共に、次年度の探究活動への足がかりになりました。



### 〈生徒の感想より〉 ●1年次生

- ・2・3年次の発表を聞いて聞き手に分かりやすいように根拠を持つことや自分の考えを深く持つことなど学ぶことが多く、一つの疑問に対して深く考えられるようになりたいと思いました。
- ・テーマがとても大事だなと思いました。仮説の検証がしやすいものや比較できるものは説得力がでるなと思いました。先を見据えて研究をしていきたいなと思いました。
- ・今回、総合学科の発表会は初めてでしたが、他の学年の方が何を勉強したりしているかなど実際に知る機会でありとても役に立ったと思います。これからの課題研究などにも興味で学んだことを活かしていきたいと思いました。
- ・部活の先輩にも教えてもらったけど、1つの作品を完成させるのに時間がかかり、こだわる部分も多く出てくるため早めに先を考えて行動して行くべきだと分かった。1年次の様々な体験をして学んだ経験を活かし、来年ではさらに発展させ自身を成長させると共に周りとも高めあっていきたい。

### ●2年次生

- ・他の人の発表を聞いて自分よりもっと深く追究できていたし、仮説や根拠を自分なりに立てて発表できていて今後こういう発表をする時にもっと深く追究してできるようにしたいです。
- ・この総合発表会では、自分の研究発表がいかにも不十分であるかをすごく実感させられました。残りの課題研究の時間は多くはないけれど、今よりもっと良い研究が出来るよう努力したいです。3年生はもちろん、同級生や1年生にも、面白くて柔軟な発想を持ったひとがいることが分かったので、最後のお話にあったように、積極的に自分から良いアイデアに触れるようにしていきたいです

## マイプロジェクトアワード 2022 オンライン Summit

1月8日(日)・22日(日)、NPO法人カタリバが主催する「マイプロジェクトアワード2022」のオンライン Summit が開催されました。2年の神谷柚希さん、東川吏玖さんの2名が書類選考を経て参加し、課題研究で取り組んできた自身の「研究」について発表しました。

サポーターの方や、他校の高校生に発表を聞いていただき、率直な感想や意見、質問などをしてもらうことができました。自分の研究に自信が持てた部分や、今後さらに改善する部分も見つかりました。また、他校生の発表を聞くことで良い刺激を受け、大変有意義な時間を過ごすことができました。



## 一神戸市立横尾小学校との小高連携授業一

1月23日(月)、防災ジュニアリーダーを含む生徒会役員が神戸市立横尾小学校を訪問し、小学生に対し防災の大切さを伝える授業を行いました。まず初めに、防災ジュニアリーダーから1年間で学習したことを児童たちに伝え、その後はグループごとに分かれて学習を行いました。各グループは、阪神・淡路大震災を様々な角度から報じた当時の新聞記事や報道写真、ラジオ放送原稿を使用して、災害について理解を深め、その上で今できることについても考えました。

また、授業後には見学者や教員らによる意見交換会に代表生徒も参加しました。小学生に授業する難しさを感じながらも、色々な意見を受け、刺激を与えてもらう等、高校生にとっても充実した時間となりました。



## 一2分間スピーチ(1年次)一



2月17日(金)の5、6限に「産業社会と人間」の授業の一年間の学びについて2分間で発表をする2分間スピーチを行いました。1年間、多くのことを学び、実践してきたまとめということもあり、一人ひとりがクラスメートに向かって真剣にスピーチを行いました。

この一年間で他者の中で発表する機会が3回目ということもあり、どの生徒も堂々と発表している姿が印象的でした。この経験を2、3年次での課題研究の発表へと繋げて欲しいと思います。

## 一クロスカリキュラムグループ発表(1年次・ゼミ混合)一

1月13日(金)の5、6限にクロスカリキュラム探究のグループ発表を行いました。2学期に5回(10時間)をかけて行ってきた活動内容と成果をポスターにまとめ、グループごとに発表しました。各ゼミ、工夫を凝らした発表ができていましたが、ゼミ混合発表にしたことで、自分たちがやってきた内容とは違った発表を聞くことができ、聞いている側も最後まで興味深く聞くことができました。

〈生徒の感想より〉

- ・今回発表しながら思ったことは、発表を聞く側のことを話してみたりするのを見ていて、聞きやすいと感じました。(小林・中村ゼミ)
- ・他のグループ発表を見ていると、写真を使ってポスターを見やすくしていたり、クイズを試してみたり、いろいろ工夫していたのでより深く発表者の意見を聞くことができました。聞いている人が飽きない発表をできるようにしたいと思います。(小滝・山村ゼミ)



## 一「with... 若き女性美術作家の生涯」鑑賞会(1年次)一

今年度も1年次産社の締めくくりに「with...」を鑑賞しました。本校卒業生の1人の女性の生き方をテーマにした映画です。1階ロビーに絵画が飾られていることは知っているも、誰かいつどんな思いで描いたものかをこの映画で知る生徒がほとんどだと思います。映画を観ながら涙する生徒も複数いました。産社を学び、将来や社会について考え、発信していくことの重要性を知った今だからこそ、佐野さんの生き様が心に刺さった人も多かったようです。



〈生徒の感想から拾った KeyWord〉

- 悔いのない人生を過ごしたい
- 世の中から不平等を無くしたい
- 生きている素晴らしさを改めて気付かされた
- 自分の好きなことを追及したい
- 自分のできる範囲で誰かのために何が出来るかを考えたい
- 誰かの支えになる、誰かのためになるそんな生き方をしたい
- 生き方に刺激を与え、自分の未来に繋げるようにしたい

## 一キャリア講演会(2年次)一

3月7日(火)、株式会社 Values Fusion より代表取締役社長の竹内慶太さんをお招きし、「20代を最高に生きるためのキャリアビジョン」と題した講演会を行いました。竹内さんからは、「社会に価値を与えられる人になってほしい」というメッセージとともに、そのために必要な考え方のヒントを伝えていただきました。目的・目標・手段の設定の仕方や、やりたいことや強みの育て方について教えていただきました。

## 一キャリア講演会(1年次)一

3月8日(水)、一般社団法人イドミィより代表理事の高橋惇さんをお招きし、「生き方どうする? 一歩ふみだす勇気を君に」と題した講演会が行われました。高橋さんからは、ご自身の体験をもとにユーモアたっぷりにお話いただきました。生徒たちは高橋さんが発する言葉に感動し、心に響いた様子でした。生徒たちが、一歩ふみだす姿を楽しみにしています。高橋さんがこれまでに得た3つの宝物【経験値・智恵・人との出会い】そして大切にしている3つのこと【あいさつ・礼儀・気配り】は今から実践できることです。叶えたい夢は口に出して言おうと背中を押していただきました。 **今しかできないことは今しかできない**

